

NAKATSUGAWA CENTRE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT



寄仕しよう みんなの人生を豊かにするために



クラブテーマ 「不易流行」
～ロータリークラブのニューノーマルとは～

【本日のプログラム】

例会前：定例理事会

- ・開会点鐘
- ・Rソング「それでこそロータリー」
「四つのテスト」
- ・ゲスト、ビジター紹介
- ・会長の時間
- ・会員慶事「皆出席表彰」
- ・出席/スマイルボックス
- ・委員会/幹事報告
- ・卓話の時間「健康診断講評」
- ・閉会点鐘

11月 皆出席表彰

勝野正彦君 31年 村上幸博君 16年
堀 正勝君 13年 郷原基幸君 11年

クラブ
ホームページは
こちらから



Coming Soon ～今後の例会プログラム～

- ・12月6日(月) クラブ年次総会(執行部)・新会員スピーチ
- ・12月13日(月) 記念植樹例会(奉仕プロジェクト常任委員会)
会場：商工会議所ホール棟 12:00 昼食 12:45 点鐘
- ・12月20日(月) 忘年例会(管理運営常任 親睦活動委員会) 定例理事会
- ・12月27日(月) 年末休会
- ・1月3日(月) 年始休会
- ・1月10日(月) 法定休日(成人の日)
- ・1月17日(月) 新年家族例会(管理運営常任 親睦活動委員会)

連絡事項

- ・11/20(土) 職業奉仕研修セミナーが開催され丹羽副会長が出席致しました。
- ・11/26(金) 東濃グループ会長幹事事務局連絡会議が瑞浪で開催されました。
- ・恵那 RC 創立 60 周年記念式典・祝賀会の開催日は令和 4 年 2 月 5 日(土)に変更との案内を拝受。
- ・恵那、中津川、センター3RC 合同例会(ホスト：恵那 RC)は、ガバナー公式訪問と IM を同時開催することが決定しました。(東濃G会長幹事会議にて決定)
日時：令和 4 年 3 月 8 日(火) 15:30 頃 会場：恵那峡グランドホテル

11/15 俳句例会 優秀作品



秋色に	七五三	クリスマス	去りし日の	コトナ禍で	秋深し	蝉の声
アクセルゆるむ	孫の晴れ着に	僕だけ来ない	思い出燃やす	ひとり静かに	票読み終へし	夕日に染まる
付知川	頬ゆるむ	サンタさん	焚火かな	月見酒	朝三時	桜島
山神明男	赤座薫	加藤英和	謝郎子	園原祐一	吉村浩平	郷原基幸



～中津川市の介護の未来は～



こんにちは、本日の会長の時間は先回の続きになります。

2018年、国は外国人労働者受け入れ拡大を決定し、5年間で介護職として5万人と発表しました。単純計算で1年1万人、10年で10万人であります。一見、外国人に頼ることで介護人材は確保できるかのように考えられますが、これは大きな間違いです。厚生労働省のワーキンググループによると2025年に不足する介護職員は38万人と試算されています。これからすると、仮に年間1万人2025年まで5～6万人外国人介護職員が増加しても、全国で30万人以上も不足するという現実がやってくるのです。解決策は何処にあるのでしょうか？

中津川市で就労する介護職員は詳細な数字は持ち合わせていませんが2015年の時点で約800人程です。この数字は全国平均より15%程低い数字であります。概算では2030年には中津川市では1150人程の介護職員が必要になるのではないかと考えています。

労働生産人口が減少していく中、今後10年ほどで介護職を350人増やす手立てを算段しなければ当地域の高齢福祉を乗り切ることには困難と考えられるのです。

どうしたら良いのでしょうか？

しかし、何と幸いな事に、中津川市には全国的にも珍しい福祉科を有する坂下高校が存在します。高校卒業とともに試験に合格すれば、介護福祉士の国家資格を取得できるわけです。定員は30名、単純計算で10年で300人の介護福祉士を養成できることとなります。しかし現実問題として、定員割れ、高校再編問題を抱えています。ここは何とか踏ん張って坂下高校の福祉科を応援して中津川市の介護大航海時代を乗り切れないでしょうか？

介護を外国人人材に頼らなければならない日本でありながら、当地には地元の人材で介護を完結できるチャンスが残されていることを会員皆様には周知していただきたいと思えます。とかくマスコミでは介護現場を3K扱いしネガティブなイメージが先行していますが、わが職場を見ては決してそんなことは無く、やりがいのある仕事だと自負しています。市内中学校の生徒が実地見学に来ることはありますが、大事なことは中学校教師が介護施設などを見学し、その仕事の重要性、やりがいを見出すことにより初めて生徒に福祉科進学を勧めることができるのだと思えます。坂下高校の福祉科に進むためには、まだ幼い中学生が将来を決断しなければならない。そのためには教師の介護職への理解がまずは一番大切だと思えます。中津川市は、介護職を自前で充足できるポテンシャルを持っています。この社会的資源を最大限に活用することは我々の責務だと強く考えます。

11月15日(月)例会報告 俳句例会



講師ゲスト：中津川市
俳句作家協会会長 安江康平様
分かりやすく、楽しく俳句を教えてくださいました。



会長の時間：赤座会長



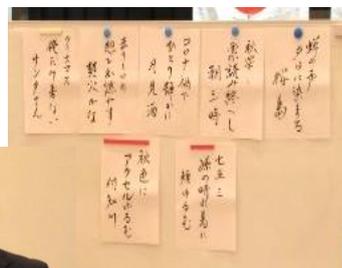
吉村委員長より講師紹介



安江先生の判定は？



才能あり
です！



沢山の俳句から選ばれた
優秀俳句（前頁で紹介）

スマイルボックス

本日の申告 41P 累計 P289

- ・11月8日に開催されました企業訪問例会では恵那眼鏡工業(株)丹羽社長には大変お世話になりました。大変楽しく見学をさせて頂きました。有難うございました。 本日の例会は俳句例会です。講師の安江康平様にはお世話になります。宜しくお願いします。メンバーの皆様もぜひ、俳句を楽しんで下さい。会長 赤座 薫 幹事 成木崇久
- ・安江さんようこそ、日頃は体育協会でお世話になっています。丸山充信
- ・本日は俳句の例会に安江さんをお招きしました。宜しくお願いします。吉村浩平 ・安江会長卓話を楽しみにしています。成瀬正之
- ・誕生日お祝って頂き有難うございます。鷹見幸久 ・妻の誕生日と私達の結婚記念日を祝って頂き有難うございます。浅井達雄
- ・結婚記念日を祝って頂きましてありがとうございます。勝野正彦 鷹見憲三 安藤茂 佐古和也 郷原基行 板頭和彦 小椋武志
- ・晩年に 新たな才能 見つけたる 心楽しき 例会かな 浅井達雄